

# 自分が好きなもの

## 1 学習対象

小学校1年生～3年生

## 2 ねらい

自分の好みを素直に感じ、性別にとらわれず自分の個性を大切にしようとする態度の育成につなげる。

## 3 準備するもの

- ワークシート
- 人物のイラスト（黒板掲示用。ワークシート内のイラストを拡大したもの）
- 色鉛筆（ワークシートで使用）

## 4 解説

様々な人権課題の中で、性的マイノリティについても近年取り上げられるようになってきました。令和2年（2020年）に実施された民間の調査では、性的マイノリティの出現率は8.9%との報告もあり、この割合を学校に置き換えると、クラスに3～4人は性的マイノリティの児童・生徒が在籍することになります。まずは「この教室にも『性』について悩んでいる子がいるかもしれない」という視点を持ち、「性」についての正しい理解と、違いを認め、違いがあって当たり前であるという基盤づくりが大切です。

低学年では特に、一人ひとりとは違ってよい、違って当たり前であるということを前提に、性別にとらわれず自分や他者の好み「個性」として大切なものであることに気づけるようにしましょう。

## 5 進め方（展開例） 45分

| 時間   | 学習の流れ（活動・内容）  | 留意事項  | 資料など  |
|--|---|---|---|
| 導入<br>10分  | <p>◆学習の確認（3分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の流れや留意点の説明を聞く。</li> </ul> <p>◆アイスブレイキング（7分）</p> <p>「どんな色が好き？」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①帽子のイラストに自分の好きな色を塗る。</li> <li>②クラスで違う色の友達を探す。</li> <li>③どうしてその色を選んだのか、理由を紹介し合う。</li> </ol> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の流れを簡単に説明する。</li> <li>・P4【学習の約束】を伝える。</li> <li>・ワークシートを配付する。</li> <li>・「違う色の人を3人探して、理由を聞いてみよう」など、人数を指定すると交流しやすい。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> </ul> |
| <p>・活動をとおして人はそれぞれ好みが違うことを知り、それぞれの好みにはその人の思いがあることを実感する。</p> |   |   |   |

|   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| <p>展開<br/>30分</p>   | <p>◆アクティビティ（30分）<br/><b>アクティビティ1</b><br/>「男の人かな？女の人かな？」<br/>①性別の判断が曖昧なイラストを見て、男の人か、女の人かを考える。<br/>②グループで話し合う。<br/>（予想される児童の反応）<br/>「野球をしているから、男の人」<br/>「料理をしているから、女の人」<br/>「髪の毛が長いから、女の人」<br/><br/>③全体で共有する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 掲示用のイラストを黒板に貼る。イラストを見た段階で児童から差別的な発言が出ることも予想される。その場合には、そこで注意をするのではなく、「どうしてそう思ったの」など、問い返しを行い、②③の場面で再度取り上げて児童に考えるよう促す。</li> <li>・ グループで出た意見を板書し、性別にとらわれた意見があれば問い返しをする。<br/>(例)<br/>「男の人が料理をするのが好きだとおかしいかな？」<br/>「女の人が野球をするのが好きだとおかしいかな？」</li> </ul> |  |
| <p>・ グループで意見が分かれたイラストを取り上げ、好きなものや好きなことは、性別に関係なく、その人自身の大切な思いであることを伝える。</p> |   |   |  |
|   | <p><b>アクティビティ2</b><br/>「自分が好きなものや好きなことを紹介してみよう。」<br/>④自分の好きなものや好きなことを友だちに「男らしくない」「女らしくない」と笑われたらどんな気持ちになるか考える。<br/><br/>⑤近くの人と自分の好きなものを伝え合う。「私は〇〇が好きです。なぜなら・・・」</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ペアで話し合わせもよい。</li> <li>・ 同時に、どのようなことを言われたら嬉しいかも考えるよう促す。</li> <li>・ ④で考えたことを生かすように声をかける。</li> </ul>  |  |
| <p>まとめ<br/>5分</p>   | <p>◆まとめ（5分）<br/>・ 授業をとおして、わかったこと、感じたことをワークシートに書く。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年生は学習状況によって、全体で交流するだけでもよい。</li> <li>・ 授業をとおして児童から出された考えや記述をもとに、ねらいをおさえ、まとめる。</li> </ul>   |  |
| <p>・ 好みは性別によって決まっているものではない。自分の好みを大切にするとともに他の人の好みも大切にしてほしい。</p>            |   |   |  |

<参考資料など>

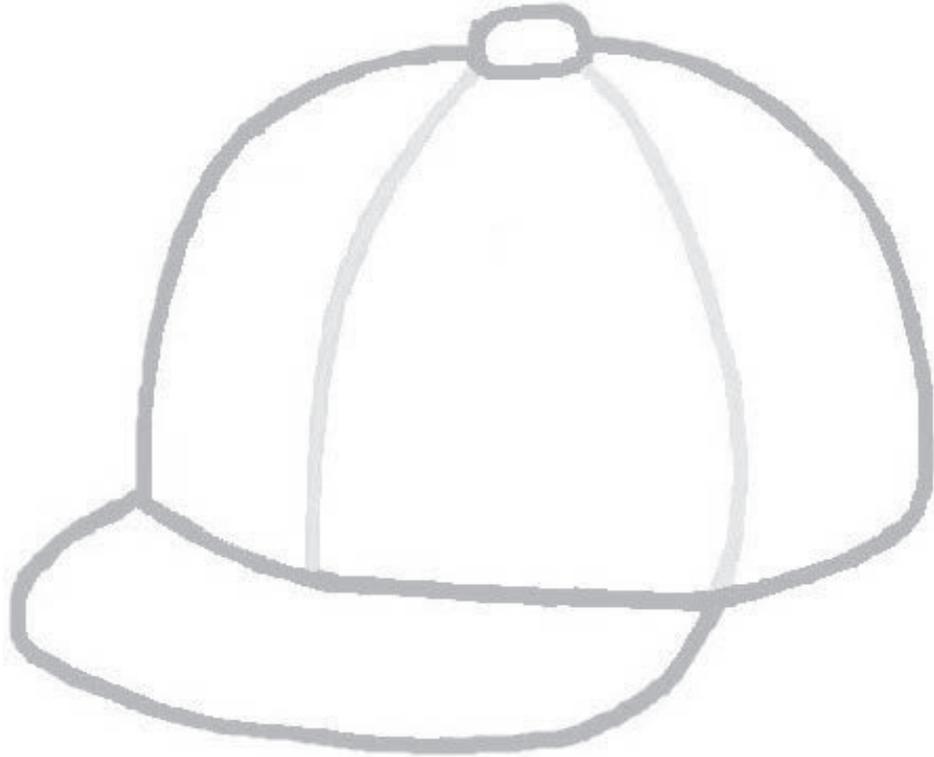
「人権学習ワークシート集 一人権教育実践のために 第15集（小・中学校編）ー」

神奈川県教育委員会（平成29年2月）

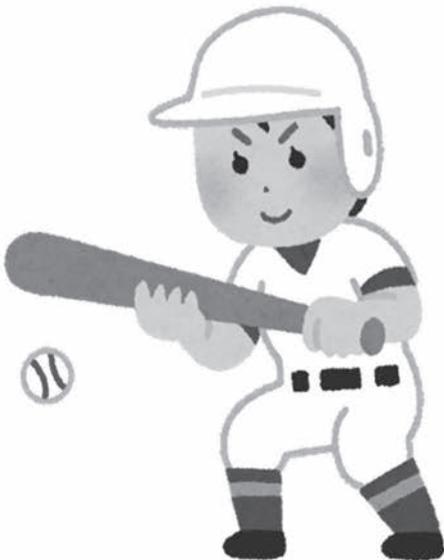
じぶん  
自分が好きなもの

( ) ねん ( ) くみ ( ) ばん なまえ \_\_\_\_\_

- 1 <sup>した</sup>下のぼうしを<sup>いろ</sup>好きな色にぬってみよう。  
ほかの<sup>ひと</sup>人は何色にぬったかな？<sup>おな</sup>同じ色にぬった<sup>ひと</sup>人はいるかな？



- 2 つぎのイラストの<sup>ひと</sup>人は<sup>おとこ</sup>男の人かな？<sup>おんな</sup>女の人かな？  
どうして<sup>おも</sup>そう思ったのかな？ まわりの<sup>ひと</sup>人と<sup>はな</sup>話してみよう。



- 3 自分<sup>じぶん</sup>の好き<sup>す</sup>なものや好き<sup>す</sup>なことを、友だち<sup>とも</sup>に「男<sup>おとこ</sup>らしくない」「女<sup>おんな</sup>らしくない」と笑<sup>わら</sup>われたらどんな気<sup>き</sup>もちになるか、書<sup>か</sup>いてみよう。（話<sup>はな</sup>してみよう。）

- 4 自分<sup>じぶん</sup>がすきなものやすきなことを、まわり<sup>まわり</sup>の人にし<sup>ひと</sup>ょうかいしよう。

わたしは \_\_\_\_\_ がすきです。

なぜかというと、

- 5 授業<sup>じゅぎょう</sup>をとおして、わか<sup>わか</sup>ったこと、感<sup>かん</sup>じたことを書<sup>か</sup>きましょう。